

訪ねてみたい島づくり

(美しい生き活きた島)

海に囲まれた九州には、大小の離島が数多く存在しておりその数では全国一かも知れません。

島民(住民)の大半は半農半漁か漁業を主に生活している人々です。また、農業の耕作地は島の限られた土地で大規模な農業は存在しないのが現状です。

島の農業や漁業では住民の高齢化や人口の減少化が進み共に後継者不足で漁業に於ては海に出る漁ができなく廃業あるのが現実です。農業に於ては休耕地の増加が年々進んでいます。

この現状より次のことを提案し農業の活性化と漁業の活性化を実現したいと考えます。

農業の休耕地利用には(菜の花プロジェクト)を提案します。

昔から菜の花畑は歌にも詠まれてきました日本の原風景です。

春は菜の花、夏はヒマワリ、秋はコスモスと観光的にも人を呼べる花です。

そは、菜の花畑、ヒマワリ畑、アスモ畑は子供から大人まで心に残る美しい景観と心にやすらぎを与えてくれる風景です。

また、

観光面はもとより 環境面を考えると菜の花やヒマワリは種をしば

り食用油として利用できます。最近では原油高の影響から菜の花油

は従来の価格より20~30% upで市販されており 80%が輸入で20%

程であると聞いております。

菜の花油、ヒマワリ油の販売面では学校給食用や地元物産館、

道の駅等で地元特産品として一般にも販売できます。(1.8L=2100円)

~~また~~ ~~また~~

学校給食用の廃食油、一般家庭の廃食油はBDF(バイオディーゼルス燃料)

として農機具用、渡船用等軽油の代替として使用できます。

休耕地をかかえる農家にとっては菜の花、ヒマワリの生産は経済面は

もとより高齢化社会の対応、健康増進、いってば農業社会の

活性化にも役立ちます。

漁業では、(風力発電と陸上養殖プロジェクト)を提案します。

陸上養殖ではアワビの養殖、~~フグ~~フグの養殖、車エビの養殖等で漁業

における収入の安定、高齢者の雇用機会の創出、漁業技術の伝承に

なります。

尚、離島に於ける風力発電の場合は発電電力の大半を島内で利用

(陸上養殖設備、他)に残り余剰電力は電力会社に売電する計画にな

りますが電力会社の本島と離島を結ぶ、海底ケーブル線が細く

余剰電力の売電に制限かであるためです。

風力発電には発電電力の利用はもとより島のシンボルタワーとしての

観光的役割もあります。

以上 2つの島の生き生きプロジェクトを実施することで農業、漁業

の経済面、高齢化対策、雇用機会の創出、については離島の

活性化に役立ち、美しい生き生きした島が誕生します。

以上



補足説明.

※ 離島の活性化には上記■2つのプロジェクトと合せて.

温泉(海水)センター、宿泊施設、レストラン(食堂)、海づり公園.

等の施設があれば、より観光客の収容人員増加図れます.